

2023 年度入試 介護福祉学科

学校推薦型選抜

出題の意図

社会における家族形態の変化に伴い、介護が必要な状態になった時の居場所や介護の担い手にも変化が見られる。在宅介護の場合、慣れ親しんだ環境で自分のペースで暮らせるメリットがある。周囲の価値観で「快適ではないだろう」と思う環境だったとしても、高齢者にとって「なじみ」の環境は生きる意欲につながる。反面、ご家族に介護の負担が集中してしまうことがデメリットとして考えられる。一方、施設での生活には、健康や安全が担保され、必要な時に必要な介助が受けられるメリットがある。しかし、画一的なサービスの中で個人の嗜好や習慣に応じた支援は受けにくい状況にあるともいえる。高齢社会における未来を見据え、自分ごととして考え、後悔しない選択や実践に向けた対応について論じていただきたい。

なお、この小論文は、社会的課題を自分事としてとらえ、様々な見解から根拠を持って自分の言葉で説明することができるかを判断するために作成したものである。

評価の視点

- ①出題・設問の意図を正確に理解しているか
- ②設問に対する適切な答えになっているか
- ③社会福祉に関する事柄を取り上げ適切にまとめているか
- ④自分の考えを自分の言葉で述べているか
- ⑤誤字・脱字はないか
- ⑥限文字の90%以上の記載があるか